

大阪大学大学院情報科学研究科情報基礎数学専攻

令和6年度大学院前期課程入試問題

(数学)

- 問題用紙は表紙を入れて3枚である。
- 問題数は5題である。
- すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
- 解答は各問題ごと別々の解答用紙に記入すること。
- 各解答欄の左上に、解答した問題の問題番号を記入すること。
- 解答用紙の裏面は使用しないこと。裏面に書いたものは無効である。

1. \mathbb{R}^3 空間における, 次の集合 A と B との共通部分の体積 V を求めよ.

$$A = \left\{ (x, y, z) \mid x^2 + \left(\frac{y}{2}\right)^2 + \left(\frac{z}{3}\right)^2 \leq 9 \right\},$$

$$B = \left\{ (x, y, z) \mid x^2 + \left(\frac{y}{2}\right)^2 \leq 3x \right\}.$$

2. \mathbb{R}^2 平面上の関数

$$f(x, y) = (x + y)^2 + (xy - k)^2 \quad (k > 0, k \neq 2)$$

の極値を求めよ.

3. $\{a_n\}_{n=1}^{\infty}$ を $a_1 = 1$ なる単調増加な実数列として, $\{b_n\}_{n=1}^{\infty}$ を

$$b_n = \left(1 + \frac{a_n}{n}\right)^n$$

と定める. 以下の問いに答えよ.

- (1) $\{b_n\}_{n=1}^{\infty}$ は単調増加であることを示せ.
- (2) $\sup\{a_n \mid n = 1, 2, \dots\} < 2$ ならば, $\{b_n\}_{n=1}^{\infty}$ は収束することを示せ.
- (3) $\{a_n\}_{n=1}^{\infty}$ が有界ならば, $\{b_n\}_{n=1}^{\infty}$ は収束することを示せ.

4. A は正則な n 次実正方行列とする。以下の問いに答えよ。

(1) ある直交行列 Q と上三角行列 R が存在して、

$$A = QR$$

と分解できることを示せ。ただし、行列 R の対角成分はすべて正とする。

(2) (1) における分解が一意的であることを示せ。

(3) (1) の Q と R について、 RQ の固有値が A の固有値と一致することを示せ。

5. a を実数として、

$$A = \begin{pmatrix} 2 & a+1 & -a-1 \\ -1 & a+3 & -a \\ -1 & a+1 & -a+2 \end{pmatrix}$$

とおく。正の整数 n に対し、 A^n を求めよ。